

新農薬の紹介

殺菌剤ベランティー® フロアブルの特長

BASF ジャパン株式会社 久池井

ゆたか
豊

はじめに

ベランティーフロアブルは、BASF 社が発明したインプロパノールアゾール系の新規殺菌成分レビゾール®（一般名：メフェントリフルコナゾール）を 34.9%含有する殺菌剤である。本剤は、2017 年より一般社団法人日本植物防疫協会を通じて、BAF-1707 フロアブルとして新農薬実用化試験を開始し、果樹類を中心に各種病害に対して優れた効果を示した。2023 年 10 月 18 日付で、新規に農薬登録を取得した（表-1）。また、今後は本剤の果菜類への適用拡大および芝分野では「マックスティーマフロアブル」として登録申請予定である。

以下、本年 2 月に上市した本剤の作用特性および特長を紹介する。本剤の理解につながり、農業現場での有効な防除薬剤の一助となれば幸いである。

I 有効成分とその性状

一般名：メフェントリフルコナゾール（mefentrifluconazole）

CAS 登録番号：1417782-03-6

化学名（IUPAC 和名）：(2RS)-2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-オール

表-1 ベランティーフロアブル（農薬登録番号 第24778号）の適用病害と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メフェントリフルコナゾールを含む農薬の総使用回数	
りんご	モニリア病 黒星病 赤星病 斑点落葉病 褐斑病 黒点病	8,000 倍	200~ 700 l/10 a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
なし	うどんこ病 赤星病 黒星病 黒斑病			収穫前日 まで				2 回以内
もも	灰星病 黒星病							
ネクタリン				2 回以内	3 回以内			
おうとう	灰星病							
うめ	黒星病			3 回以内	3 回以内			
ぶどう	灰色かび病 黒とう病							

The Biological Property on a Novel Fungicide, Mefentrifluconazole (Belanty® Flowable). By Yutaka KUCHII

(キーワード：レビゾール, 殺菌剤, DMI, 植物保護, 低感受性菌, リンゴ黒星病)